

2028年「超知能」到来：サム・アルトマンの予測とAI界の激震

サム・アルトマンによる2028年末までの「超知能」到達予測と、それに対するテック業界リーダーたちの対照的な見解を視覚的に整理し、現在のAI論争の核心を伝える。

2026年2月の「India AI Impact Summit」にて、OpenAIのサム・アルトマンは、2028年末までにAIが人類全体の知的能力を超える「知的逆転」が起こると宣言した。この大胆な予測は、国際的な規制機関（IAEA型）の損増やインドへの大規模投資計画と相まって、AI業界に賛否両論の嵐を巻き起こしている。

アルトマンの予測：2028年の「知的逆転」

2028年末までの
「超知能」到達



「知的逆転」による
自己強化型成長

AIが最高の科学者やCEOを超える判断力を持ち、指数関数的な成長が始まると主張。



IAEA型の国際監視機関
を提唱

核物質のようにAIを国際的に
管理・規制する、強力な新組織
の設立を求めた。

人類全体の知的能力

データセンター内の知的能力が、人類全体の
知的能力を凌駕する転換点を予測。

業界リーダーたちの対照的な見解



デミス・ハサビス：
AGIは5～8年以内



現在は「凸凹な知能」であり、
真の創造性や長期的計画には
課題が残ると指摘。



ヤン・ルカン：LLMの
限界と予測への拒絶



「数年内の超知能は起こりえ
ない」と断言し、LLMに固執す
る業界を批判。



ダリオ・アモデイ：
経済成長と雇用のリスク



AIがインドのGDPを25%押し
上げる一方、ホワイトカラー
職の自動化を警告。

AIの進化と到達時期に関する主要リーダーの予測比較

リーダー名 (所属)	予測される到達時期	主な視点・姿勢
サム・アルトマン (OpenAI)	2028年末	超知能の到来と「知的逆転」を確信
デミス・ハサビス (DeepMind)	5～8年以内	「凸凹な知能」からAGIへの漸進的進化
ヤン・ルカン (Meta)	数年内は「不可能」	LLMの根本的な能力限界を主張